沖縄県におけるユーチャリスの開花調節法の検討

須藤憲一・勝連盛憲[1)]・岩本由美[1)]・内藤善美[2)]・比嘉良次[1)]・内藤　孝[1)]
（九州沖縄農業研究センター・[1)] 沖縄県農業試験場・[2)] 岩手県農業研究センター）

Kenichi SUTO, Seiken KATUREN, Yumi IWAMOTO,
Yoshimi NAITO, Yositugu HIGA and Takashi NAITO:
Regulation of the flowering of *Eucharis grandiflora* in Okinawa

沖縄県におけるユーチャリスの切り花生産は北部地域において寒冷紗ハウス内で行われている。開花期のピークは冬季を主にし，極少ない４～５月を除いて少しずつ開花しているが，主開花時期が需要の少ない時期であるとともに，年による変動が大きいために需要に的確に応えられず，生産が不安定である。この試験は開花習性を把握するとともに，開花時期の調節法についての検討を行った。

1. 材料および方法

Eucharis grandiflora の球根あるいは株を鉢あるいはプランターに移植し，養成した株を使用した。低温処理等は，1998年はファレノプシス低温処理室，以降は寒冷紗ハウス内でサニーコートとピアレスフィルムで覆ったパイプハウスの中に家庭用のエアコンを設置して行った。試験は沖縄県農試園芸支場と宜野座村の生産者で行うとともに，久留米で補足的な検討を行った。

2. 結果および考察

１）低温処理による促成

久留米では７月初旬からの低温処理に先立ち，６月上旬からの高温処理が必要であるが，沖縄では７月１日までに自然の高温が充足しており，低温処理後，２ヶ月半で開花した。10月中旬の開花を目的にする場合には，７月下旬からの低温処理が適した。20℃の目標設定温度で，全株，あるいは50％に近い大球根の花成を誘導できた。設定温度を23℃に上昇した場合花成誘導効果はあったが，不感応個体が増加する傾向がみられた。

なお改植直後の充実の悪い個体は20℃条件でも効果が劣った。

２）暖房による抑制

秋期に大半が開花した株を11月から暖房し，2月から低温条件に戻した場合，4月下旬からの採花が可能であった。しかし，12月下旬から暖房した場合には，高温により促成される球と，抑制されて目的とする５月に開花する球とに分かれた。秋期に開花しなかった個体を供試し，高温抑制開始時期を検討したところ，10月からの処理でも，これまでに受けた軽度の低温刺激により，処理高温で冬季の開花が促成される球もあった。しかし多くの球は11月15日以前からの高温処理によって４月下旬以降の開花になり，抑制効果が得られた。密閉したトンネルによる自然高温では抑制効果が得られなかった。

３）自然栽培環境下での秋季開花の要因

遮光ハウス環境下での開花反応は年によって大きく変動していたが，その中で，平成12年度の秋期の採花量が増加したことから，その原因を温度環境との関連で検索したところ，開花約２ヶ月半前の８月上旬に25℃以下に気温が低下する時期があった。高温経過後の１週間程度の比較的高い低温でも開花反応が促進される球があり，充実が進んでいる球は短期間の温度低下でも容易に感応できると考えられた。

以上，沖縄県の温暖な気候を活用した高温による球の充実や花成抑制，あるいはその後の低温処理の組み合わせで開花期の調節が容易に行えることが明らかになった。効果を確実に，低コストで行うためには，球の充実に関与する要因の解明がより必要である。

第１表　開花調節処理効果

処理目的	試験場所	年度	供試材料	処理期間	処理温度（℃） 目標	平均	最高	最低	供試株数	開花日	開花株率（%）	開花数／開花株
10月開花	沖縄	1998	10号プラ鉢	7/1～	25/20	22.2	38.6	15.9	11	9/9－9/24	90.9	1.8
				7/15～		21.7	34.1	15.9	11	9/25－10/8	72.7	1.9
				7/31～		21.6	34.1	15.8	13	10/13－10/26	84.6	1.9
10月開花	沖縄	1999	7号プラ鉢	7/7～9/8	20/20	20.5	40.9	18.5	100	9/16－9/21	100.0	1.3
5月開花			同上開花株	11/10～1/27	25加温	27.6	40.0	20.6	100	4/29－5/4	96.0	1.4
10月開花	沖縄	2000	7号プラ鉢	7/16～発蕾	23/23	24.0	42.0	17.8	100	9月下旬	48.0	1.5
			3株/プランター		20/20	21.5	36.2	17.0	84	10月上中旬	56.0	1.0
5月開花	沖縄	2001	同上プランター	12/19～3/7	25/25					（2月/5月）	(38.2/43.1)	

注）１株中の開花可能球は３球程度

第２表　高温抑制栽培における高温処理開始時期の影響

処理	処理開始時期	開花本数（本/15株） 11月	12月	1月	2月	3月	4月上	4月中	4月下	5月上	計	4月から5月開花本数
無処理		0	4	3	0	2	0	0	0	1	10	1
25℃加温	10月1日	0	1	0	2	1	0	0	5	7	16	12
	10月15日	1	2	0	1	0	0	0	6	9	19	15
	11月1日	0	5	0	1	1	0	0	7	6	20	13
	11月15日	0	2	2	1	1	0	0	6	8	20	14
	12月1日	0	6	1	0	2	1	0	1	4	15	6
トンネル	10月1日	1	4	0	0	8	0	0	0	1	14	1
	11月1日	0	7	2	0	1	0	0	0	0	10	0